

統合された
アシュアランスサービスの実現へ

統合されたアシュアランスサービス

Assurance Vision 2030（以下、Vision 2030）では、信頼の空白を統合されたアシュアランスサービスで埋めていく未来を描いています。統合されたアシュアランスサービスとは、監査とBASの垣根を越えて、専門性を結びつけ、社会に広がる広範な信頼の空白、つまり多くの社会課題に対して持続可能な解決策を提供するための包括的な取り組みです。私たちは、クライアントや社会における信頼の空白を埋めるために、監査とBASのいずれであっても最適な手法を選択し、より強く求められている形で信頼を提供することが重要だと考えています。監査とBASという部門や手法の違いにとらわれず、社会やクライアントが必要とする信頼を柔軟かつ的確に提供すること自体を統合されたアシュアランスサービスと位置づけています。

当法人のサービス領域

当法人は、「監査および保証業務」と「ブローダーアシュアランスサービス（BAS）」の2つの主要な領域でサービスを提供しています。BASでは、監査・保証業務や会計業務で培った知識や経験を活かし、下記のような幅広い領域でアドバイザリー業務を提供しています。

- 財務報告アドバイザリー（決算業務・経理業務支援など）
- ガバナンス・リスク管理・コンプライアンス（GRC）および内部監査
- サステナビリティ情報開示支援（統合報告・気候変動関連など）
- リスク・アシュアランス（システム監査・デジタルガバナンス・サイバーセキュリティなど）
- デジタル・トラストサービス・プラットフォーム
- フォレンジック

監査では、独立した立場から企業の財務諸表や内部統制報告書などの適正性を確認することで信頼を付与します。一方BASでは、企業のデータ作成・収集・保持や内部統制プロセス構築を支援することにより、企業の信頼構築に貢献します。監査とBASの双方で社会に信頼を提供することで、私たちは社会に対して大きく貢献できると考えています。そしてこの信頼は、提供するサービスが一貫して高品質で、社会から認められることにより生まれます。

当法人の特徴の1つは、監査とBASの双方に取り組んでいる点です。企業の目的に沿って、監査もしくはBASを提供することができ、企業の多様な期待に応えられる体制が整備されています。監査および保証業務部門とBAS部門間で人財の交流も活発に行っており、監査を行っていたメンバーがBASに異動することもある一方で、普段はBASを提供しているメンバーが監査を行うこともあります。このため、それぞれの業務で得られた知識や経験を、違う形で別の企業の課題解決につなげることができます。また、社内研修では、監査および保証に関する内容だけでなく、BASに関する内容についても充実させています。

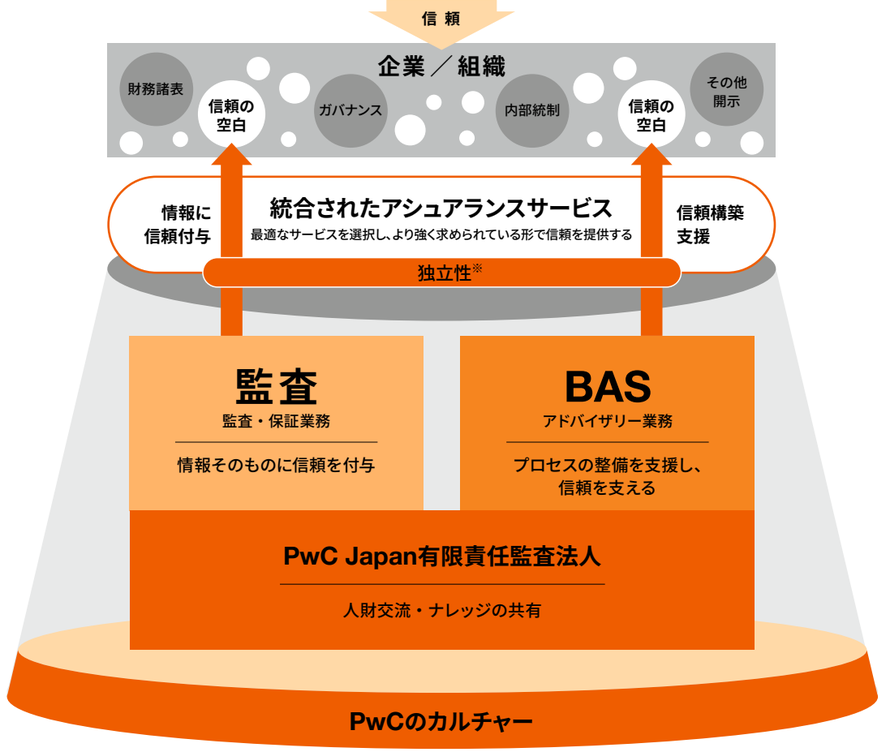
Vision 2030を実現するために、私たちは、監査とBASの専門性を結集させ、独立性およびその他の職業的専門家としての要件を遵守しながら、社会やクライアントが必要とする信頼を構築するため、既存サービスの高度化と新規サービスの開発を推進していきます。また、プロフェッショナルが自然にこれらの取り組みを実践できる組織や体制を整備し、運用することで、未来に向けた持続可能な成長を実現します。

信頼が必要とされている領域の例

世の中が急速に変化する中で、信頼の空白、信頼の付与が必要な領域は広範に及んでいます。私たちは、統合されたアシュアランスサービスを通じて、今後以下のような領域で信頼の付与に貢献したいと考えています。（信頼の図参照）

自動運転に関する信頼 | **3次元GPSに関する信頼** | **AIに関する信頼** | **気候変動対策に関する信頼** | **民間宇宙事業に関する信頼**

■信頼の図



※法令等および独立性要件の範囲内で、被監査会社に対する一定のBAS業務の提供が認められています。